

第25回親善スポーツ大会

ソフトボール大会
運営委員会資料



東京八重山郷友連合会

1. 開催日

2011年（平成23年） 5月4日（水）

（雨天の場合は順延とする。各郷友会実行委員責任者へ連絡）

2. 会場

上奥富運動公園

3. 当日タイムスケジュール

運営委員集合 : 8時00分

①開会式 : 8時30分

開会宣言・・・（竹富 大 和功 ）

主催者挨拶・・・大谷 喜久男 東京八重山郷友連合会会長

優勝旗返還・・・白保チーム

準優勝カップ返還・・・平真チーム

ルール説明・・・審判委員長（玉那覇 昇 ）

選手宣誓・・・（伊原間チーム ）

準備体操・・・（竹富チーム 大山 保孝 ）

試合開始 : 9時00分

（昼食は空き時間に各チームにてお願いいたします）

試合終了 : 15時30分

会場清掃 : 15時30分（C、D、グラウンドは試合終了しだい清掃整備）

（15分程度で終了してください）

閉会式前にトラクション15分

②閉会式

順位報告・・・審判長

各賞授与・・・大谷 喜久男 東京八重山郷友連合会会長

閉会の挨拶・・・運営委員長

解 散

4. 参加予定チーム

14郷友会 13チーム

- ・西表島チーム ・伊原間チーム ・大浜チーム ・黒島チーム ・しかあざチーム
- ・白保チーム ・竹富チーム ・波照間チーム ・鳩間チーム ・双葉チーム
- ・平真チーム ・宮良チーム ・与那国チーム ・

5. 用具

用具は各チームで用意する。なお、試合ボールは運営委員会で準備します。

6. 連絡

各郷友会会員への案内は各チーム、または各郷友会で広報してください。

7. 大会実施要領

- (1) 参加チームは、郷友出身者及びその縁故をもって公正する。
- (2) 参加費は1チーム1万円とする。
- (3) 1チームのメンバーは監督、主将を除き20名未満とする。
- (4) 各チームは2名以上の女性プレーヤー、満60歳以上の男子、または小学生を参加させる事とする。
※ DHルールを採用し、適宜に交代可能とする。女性、満60歳以上男性、小学生のDHは同クラスの選手とする。
- (5) 同一選手の複数チーム出場は禁止とし、出場した場合は勝敗に関わらず相手チームの勝利とする。
- (6) 審判を各チームから4名選出し試合進行を務める。
- (7) 本部への試合結果報告は、別途定めるグラウンド責任者が報告する。
- (8) 参加者は全員スポーツ団体保険に加入する。(300名)
- (9) 賞状・賞品について
 - 優勝 : 優勝旗・賞状・賞品(20名分)
 - 準優勝 : 準優勝カップ・賞状・賞品(20名分)
 - 3位 : 賞状・賞品(20名分)
 - 最優秀選手賞 : 賞状・賞品(優勝チームから1名選出)
 - 好プレー賞 : 各チームから1名選出
 - 珍プレー賞 : 各チームから1名選出
 - 応援賞 : 1チーム選出
 - 参加賞 : 4位以下のチームへ(1チーム20名分)

8. 大会競技要領

本大会のルールは、日本ソフトボール協会ルールを原則とし、下記の特別ルールにより実施する。

- (1) 試合方法は予選リーグ、決勝トーナメント戦により優勝を決定する。
尚、勝敗が同じの場合は得失点により得点の多いチームを勝者とし、同率の場合は9名のジャンケンで決定する。
- (2) 試合回数は5回とし、60分を超えた場合は次の回に入らず同点の場合は9名のジャンケンで決定する。
- (3) 試合に関する抗議は、必ず監督、または主将により申し出る。
- (4) 本大会に使用するボールは協会3号ボールとする。
- (5) 試合では、鉄金具のスパイクを使用禁止とし、必ずヘルメットを着用する。
※試合前に審判が確認
- (6) デッドボールなし、盗塁はなしとする。またウインドミル投法、スローピッチは禁止とする。
- (7) ワイルドピッチ、パスボールによる進塁はなしとする。また、エラーによる進塁はラインを超えた場合のみワンベースとする。
- (8) 本塁打はなしとし、打球が外野を抜けた場合は2塁打とするがその他は主審の判断に委ねる(落球打の場合等)
- (9) DH制度を採用する。

9. 大会当日の役割分担

◎大会統括

連合会会長	大谷 喜久男
大会会長	(比嘉千都代)
副会長	(泉水 朝晴)
副会長	(安里 長栄)
副会長	(宇根底政祐)
副会長	(兼久 寛正)
副会長	(落合 幸雄)
副会長	(仲間 正吉)
副会長	(前津 紳雄)
副会長	(前石野 勇)
副会長	(迎里 学)
副会長	(鳩間 昭英)
副会長	(波照間治己)
副会長	(東迎 輝幸)
副会長	()
会計監査	()

◎進行係

グラウンド責任者	:	総括	(島仲 実)
		A面	(安里長栄)
		B面	(波照間治己)
		C面	(大 和功)
		D面	(前津紳雄)

◎本部記録集計係 : (島仲 実)

◎案内放送係 : (島仲 実)

※その他の役員・幹事は試合の補助など円滑な進行や運営に協力する。

※会場設営（ライン引きやベース配置、本部テント張り）は8時30分までに行う。

※予選リーグの審判はかくブロックにおいて試合のないチームが担当する。

★当日準備するもの

- ① ボール12個(3号)
- ② ラジオ体操用テープまたはCD
- ③ 音声関係
- ④ 賞状・賞品
賞状：優勝、優勝準優勝、三位 最優勝選手賞(優勝チームより)
賞品：優勝・準優勝・3位・最優秀賞・好、珍プレー(各チームより一人ずつ)・参加賞
- ⑤ 本部用テント・机など
- ⑥ 紙コップ・ゴミ袋・飲み物(本部用)
- ⑦ 救急箱
- ⑧ 傷害保険加入手配
- ⑨ 筆記用具 他
- ⑩ スコアボード(本部用)
- ⑪ 子供たちへのプレゼント
- ⑫
- ⑬

東京八重山郷友連合会 親善スポーツ大会（ソフトボール大会）の歩み

回数	年		会長名		参加数	場所	優勝チーム名
第1回	1987	S62	花原 靖	西表	5	小田急グラウンド	宮良チーム
第2回	1988	S63	花原 靖	西表	6	小田急グラウンド	白保チーム
第3回	1989	H1	与那国正次	西表	8	小田急グラウンド	大浜チーム
第4回	1990	H2	宮良 長勇	黒島	12	小田急グラウンド	四ヶ字チーム
第5回	1991	H3	慶田盛 宏	西表	12	小田急グラウンド	西表チーム
第6回	1992	H4	岸田正包	大浜	12	小田急グラウンド	大浜チーム
第7回	1993	H5	岸田正包	大浜	12	小田急グラウンド	宮良チーム
第8回	1994	H6	西原 勇	宮良	11	上奥富運動公園	黒島チーム
第9回	1995	H7	武内 寅男	平真	12	上奥富運動公園	白保チーム
第10回	1996	H8	知念 政演	黒島	12	小田急グラウンド	平真チーム
第11回	1997	H9	崎原 永明	与那国	13	小田急グラウンド	大浜チーム
第12回	1998	H10	大谷喜久男	竹富	13	小田急グラウンド	大浜チーム
第13回	1999	H11	新良 文二	白保	13	上奥富運動公園	大浜チーム
第14回	2000	H12	内間 恒男	波照間	—	上奥富運動公園	ノーゲーム
第15回	2001	H13	羽鳥 秀男	しかあざ	12	上奥富運動公園	西表チーム
第16回	2002	H14	慶田盛 宏	西表	13	上奥富運動公園	西表チーム
第17回	2003	H15	島仲 実	黒島	13	上奥富運動公園	宮良チーム
第18回	2004	H16	山城 直明	宮良	14	上奥富運動公園	双葉チーム
第19回	2005	H17	知念 辰昇	双葉	14	上奥富運動公園	与那国チーム
第20回	2006	H18	大仲 尊	与那国	12	東京信金グラウンド	与那国チーム
第21回	2007	H19	羽鳥 秀男	しかあざ	12	東京信金グラウンド	双葉チーム
第22回	2008	H20	島袋 英次	北部	12	東京信金グラウンド	北部チーム
第23回	2009	H21	迎里 学	白保	13	上奥富運動公園	白保チーム
第24回	2010	H22	兼久 寛正	黒島	13	上奥富運動公園	白保チーム
第25回	2011	H23	比嘉千都代	竹富			
第26回	2012	H24		双葉			
第27回	2013	H25		宮良			
第29回	2014	H26		鳩間			
第31回	2015	H27		西表			
第32回	2016	H28		大浜			
第33回	2017	H29		平真			
第34回	2018	H30		波照間			
第35回	2019	H31		与那国			
第36回	2020	H32		しかあざ			